

6〜7月、厚労省へ向けた国保予算要求のハガキ要請行動を取り組みます。一人4枚の目標です。力を合わせて、社会保障の後退を許さず、建設国保の充実で組合をより魅力的にしていきたいと思います。

国保予算要求 ハガキ要請行動



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

印刷部数11万3200部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円) 定価 五十円

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人 三木 勉



東栄住宅との交渉(3月15日)

仲間の声ぶつけ交渉 賃金調査や安全対策で成果

【賃金】 対策部 発) 仲間からの要求・声にもとづいた組合の交渉で現場を動かす成果が生まれています。いくつかの実例を紹介しましょう。

■新国立競技場(大成建設) 組合は新国立現場宣伝に取り組み、仲間から情報を集めてきました。そして元請・大成建設との交渉で、具体的な前進を勝ち取りました。

①新国立での賃金調査 組合がつかんだオリピック現場にあるまじき低賃金の実態を突き付け、大成に対し新国立に特化した賃金調査を要求、これを受け新国立での調査が実施され、今回公表されました。象徴的な個別現場での調査は画期的です。

②現場での「箱口令」の是正 仲間から「現場情報の口外を禁ずる」という誓約書を取られ、話せない」との声を聞かれました。「新国立競技場作業所規約」を入手し、改善を迫りました。大成は「口外を禁ずるのは技術情報や施設内部情報であり、職場環境の困りごとまで通報や相談を禁ずる意図は全くない」と回答、規約の文言の是正を約束しました。

③土曜閉所現場の賃金補てんを要求 新国立では4月29日〜5月6日まで8連休となりました。日建連が週休2日をすすめて、統一土曜閉所も開始、休日増加の流れが加速中です。2次の事業主から「人工で請けているので、出面が減ると、職人への支払いに困る。お金を上乗せしてほしい」との声が。交渉で「新国立現場でまず、賃金補てんを行なえ」と求め、大成は「よくわかる」と理解を示しました。

■東栄住宅で現場改善 東栄住宅現場では、「屋根勾配」とロフトの工事が3万1500円の低単価であり、「4人工の作業なのに安すぎる。難しい工事なのに安全経費も出ない」との従事者の声。3月15日のヒルター交渉で東栄に突き付けたところ、企業の負担で安全対策の内部足場設置が試行され、前向きな変化がありました。仲間の声は確実に現場を変えます。

大成建設・東栄住宅で現場改善

目標達成まで 構えくすくす

春の
拡大月間
最終盤



チームワークで達成の決意をアピール

春の拡大 第6次行動 1日目の5月23日、多摩・稲城支部は4%目標92人のところ成果64人、約70%の到達。あと7日で残り30%の成果を上げ、目標達成しよう、この日も各分会では行動が取り組ま

春の拡大 第6次行動 1日目の5月23日、多摩・稲城支部は4%目標92人のところ成果64人、約70%の到達。あと7日で残り30%の成果を上げ、目標達成しよう、この日も各分会では行動が取り組ま

多摩・稲城

「ひたすらガンバル」

あと3人に迫った稲城南

春の拡大月間は最終盤を迎え、3526人の仲間が加入し、拡大率は3.05%となり、月間目標達成まであと一歩です(5月27日現在)。府中国立、豊島、目黒、渋谷が4

%月間目標を達成、八王子、三鷹武蔵野、西東京、練馬、杉並、中野、文京、世田谷、板橋、多摩・稲城、北、多摩西部が3.2%を超え、目標達成間近となっています。

なにか行事がある時にはた 皆さんの仲間が集まり、チラ

シ散きも全員で取り組むという稲城南分会。今年4月から分会長になった小崎一平さんは、「あとはもうひたすら頑張るしかない。この取材記事が掲載される頃には達成していることでしょう」と頼もしい話してくれました。



2件の加入があり、達成まであと一歩となった新大泉分会の皆さん

練馬

月末は連日行動で 2人の加入で王手の新大泉

「この前話したこと、いかがですか。今日までなのよ」と菊池さんは分会の仲間と熱心に加入を勧めます。一方、大高さんは別の仲間とところへ加入手続きに向かいます。

5月24日、練馬支部新大泉分会のセンターは達成に向けた仲間のカンパリであふれていました。夕方、支部から届い

た推進ニュースでは、分会目標の6人ですが、成果の白い〇は半分の3。夜の2件の加入で残り1人となり、達成に王手です。長谷川さん(分会組織部長)と高橋さんは2人組で若手のとびと電気の事業主宅を訪問。若い従業員の健康保険のことなどを話題にしたながら加入を勧めました。

「若い建設従事者はいませんが、賃金が安くて加入が難しいことがあります。東京土建のメリットをつくること、拡大で組織を大きくし業界に強い影響力をもつことが必要です」と掛端分会長は話していました。月間最終盤、新大泉分会の仲間は連日行動で奮闘を続けます。

■東京の4月の平均気温が観測史上1位、5月上・中旬の夏日も観測史上最多となった。都市部ではヒートアイランド現象も問題だ。これからの季節に起きるゲリラ豪雨はヒートアイランド現象にも一因があるといわれ、この現象は草地や森林が減少することで加速してしまう。

■先日、教宣活動者会議で中野区の平和の森公園の樹木が、区民の反対の声をよそに伐採されているようすを取材した。中野区ではこの10年間で、新たな大規模公園の整備により公園の樹林は増加したが、住宅の建替えなどで民有地の緑が減少、緑被率は16.37%から16.14%へと、区全体の面積に対して0.23%減少し、3.61ヘクタールの緑が失われているそう。区では「みどりの基本計画」の改定を急いでいる。

■この改定案の中で、平和の森公園が立地する北東部地域の整備方針をみると、大規模公園内の樹林の良好な状態での維持保全と記されている。平和の森公園での樹木の伐採は、この整備方針と矛盾しているように思える。練馬区、杉並区と並んで、中野区はゲリラ豪雨多発地帯だ。緑を増やすことがゲリラ豪雨による災害から、区民の安全を守ることにつながるのは間違いない。貴重な「樹林を良好な状態で」残してもらいたいものだ。

朝やけ